

第45回「Face to Faceの会」たより

特別講演

『心疾患の先進的カテーテル治療について』



循環器内科

診療科部長 福田大受

近年、循環器内科領域におけるカテーテル治療の進化は目覚しく、内科的に治療が可能な疾患が増えてきました。今回は、当科で行っている心疾患の先進的カテーテル治療をご紹介します。

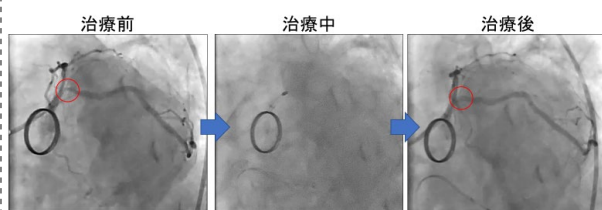
侵襲度の低い経皮的冠動脈形成術が、虚血性心疾患に対する治療法の主流です。現在では、再狭窄予防のための薬剤が塗布されたステント(DES)やバルーン(DCB)が頻用されています。当科では、硬い石灰化病変を削り取るロータブレードや動脈硬化病変そのものを切除する方向性冠動脈粥腫切除術(DCA)、レーザー光を利用して病変を蒸散させるエキシマレーザー冠動脈形成術(ELCA)等を併用し、病変に適した治療方法を選択しています。

最近では、弁膜症に対するカテーテル治療も可能となっています。経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)や経皮的僧帽弁クリップ術(MitraClip)は、従来であれば年齢や併存疾患のために手術治療が困難であった患者さんに対する安全な加療を可能としました。

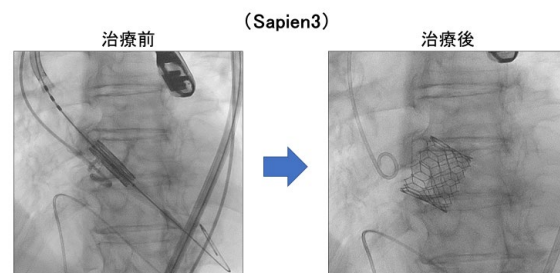
不整脈分野、特に心房細動のカテーテル治療も進化を遂げています。当科では、患者・疾患特性に応じた3Dマッピングシステムを選択し、高周波アブレーションやクライオアブレーションによる治療を行っています。動悸症状や脳梗塞・血栓塞栓症、心不全の加療・予防に有効です。

当科では、これらのカテーテル治療を提供できる専門医体制を整えており、各部門の専門医が責任をもって、相談・治療にあたっています。また、ハートチームでのディスカッションを通して、個々の患者さんに最適な治療方法を選択しています。お困りの患者様がおられましたら、是非当科にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

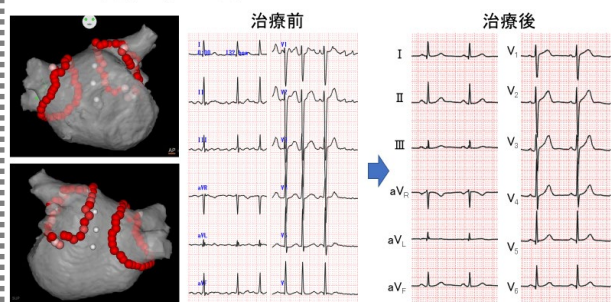
ロータブレード治療



経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)



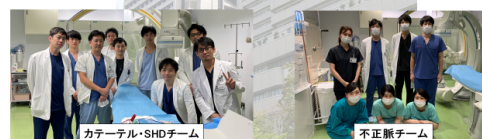
心房細動に対するカテーテルアブレーション



緊急の相談:

サポートコール(06-6645-2573)にご連絡ください。
24時間365日体制の患者の受け入れ態勢を準備しています。

胸痛、不整脈、弁膜症など心疾患の患者様は、軽症～重症にかかわらず、ご紹介ください。各部門の専門医が責任をもって、相談・治療にあたります。



『MRリニアックについて』



放射線治療科

診療科部長 澁谷景子

本年5月より稼働開始予定のMRリニアックシステムについてご紹介させて頂きました。MRリニアックシステムはリアルタイムにMR画像を確認しながら腫瘍を狙い撃ちすることのできる、次世代型放射線治療装置で、①高画質なMR画像にて照射直前の腫瘍の位置や形状を正確に把握でき、②その日の状態に応じて線量分布を再調整、最適化が可能、さらに③照射中にもMR画像による体内臓器の動きをモニタリングできる、といった特徴を有します。胸腹部では特に、体内の臓器の位置や形状が常に変化することから、通常の放射線治療においては腫瘍の動き得る範囲を広く含んだ照射野を設定する必要があります。これにより近接するリスク臓器への影響が避けられず、高線量投与の障壁となっていました。MRリニアックシステムでは「画像を見ながら手術を行うように」腫瘍とその進展範囲、周囲臓器との位置関係をリアルタイムに捉え、超選択的に照射することが可能となります。さらに、リスク臓器の耐用線量や腫瘍の生体情報に応じた照射回数ごとの線量調整を行うことで、より安全な線量増加、治療期間の短縮につなげることができます。

これらの機能を活用することで、長期通院の困難な患者さんにも就労や子育て中の世代にも大幅な負担軽減となることが期待されます。本年4月より開設予定の当院「がんセンター」におけるチーム医療の一環として、より安全で先進的ながん治療を提供していきたいと考えています。

MRリニアックシステムの特徴



- ①高画質なMR画像にて、照射直前の腫瘍の位置を確認し、照準を合わせることができること
- ②その日の腫瘍や周囲の正常臓器の状態に応じて、再治療計画を行い線量調整が可能であること
:即時適応放射線治療
MR画像誘導即時適応放射線治療(MRgRT)
- ③ 高画質なMR画像にて、照射中にも腫瘍の位置をモニタリングできること

これまでの高精度治療がさらに高精度に



MR画像誘導即時適応放射線治療の適応

基本的にはどの癌種でも対象となりますが、定位放射線治療とIMRTのメリットに加えて、MR画像誘導によりさらなる精度向上を必要とする症例、1回の線量を上げて短縮化を図りたい場合などが最もよい適応と考えられます。

定位放射線治療の保険適用疾患

- 1) 頭頸部腫瘍
- 2) 体幹部
- ③ 直径5cm以内、かつ転移のない原発性肺癌
- ② 原発性肝癌
- ③ 原発性腎癌
- ④ 3個以内で他病巣のない転移性肺癌
- ⑤ 3個以内で他病巣のない転移性肝癌
- ⑥ 転移病巣のない限局性の前立腺癌
- ⑦ 転移病巣のない限局性の痔癌
- ⑧ 直径5cm以下の転移性脊髄腫瘍
- ⑨ 5個以内のオリゴ（少数）転移

強度変調放射線治療 (IMRT) の保険適用疾患

限局性の固型悪性腫瘍
(喉頭リンパ節転移も含む)

さらに:
・放射線治療の適応であるが、腫瘍がリスク臓器近傍または接するような場合
・1回の線量を上げて短縮化を図りたい場合
・手術の適応であるが、医学的理由で難しいような場合

次回開催のお知らせ
第46回Face to Faceの会

日 時:未定
場 所:未定

発行:大阪公立大学医学部附属病院「Face to Faceの会」
文責:患者総合支援センター長 角 俊幸 (世話人代表)
連絡先:06-6645-2857 (患者支援課)